

エンジェルベルホスピタル 不妊センター移転のご案内

2010年5月のエンジェルベルクリニック開院以来、岡崎市において、不妊センターとして診療を行い、沢山の患者様にご来院いただいてまいりましたが、2016年8月10日をもって当院の不妊治療センター長である村田泰隆医師が、当院から独立・開業することとなりました。現在、ご来院をいただいております患者様にはご不便をおかけしますが、2016年8月11日以降につきましては、村田医師が、当院より北西1.5km、岡崎市大樹寺二丁目（愛知環状鉄道「大門駅」東すぐ）にて、2016年8月下旬～9月に不妊治療に特化した診療所を開院する予定ですので、そちらへの転院の手続きを、ご同意をいただいた上で進めさせていただきたく存じます。なお、その際には、当院から村田医師の新規診療所への診療情報提供、また凍結胚・配偶子等の凍結検体の移設に関しましてもご同意をいただく必要がございます。具体的な転院のお手続きに関しましては、あらためて患者様にご案内させていただく予定です。

2016年8月10日までの間は、当院の婦人科（不妊治療）は、通常通り休むことなく、村田医師を中心とした診療を継続し、村田医師の独立・開業後も、村田医師の新規診療所で、これまでの当院と同等の医療を受けていただくことが可能でありますので、ご安心の上、継続してご来院いただけますよう、宜しく願い申し上げます。

当院の産科・婦人科の診療につきましては、今後も継続して行うとともに、一般不妊（タイミング法から人工授精（AIH）まで）につきましては当院の婦人科で対応をさせていただきます。また、当院の産婦人科と、村田医師の新規診療所とは、これからも連携をとりながら、皆様の妊娠・出産のお手伝いをさせていただく所存です。今後とも、宜しく願い申し上げます。

平成28年4月吉日

医療法人葵鐘会 理事長 山下 守

エンジェルベルホスピタル

院長 岩田 光正

不妊センター長 村田 泰隆

ART クリニックみらい新規開院のご挨拶

2010年に岡崎市内にエンジェルベルクリニックを開院以来、不妊センター長として診療を行い、多くのご夫婦にご来院いただきました。開設から6年、約4000の周期で妊娠が判明、のべ2800人以上の方を分娩施設へ紹介、多くのご夫婦から出産のお知らせを頂くことができました。この上ない喜びです。残念ながら当方の力及ばなかった方もおられますが、これまでご縁を頂いたすべての方々に心より感謝しつつ、皆々様が、それぞれの場所で、それぞれの人生を満喫されていることを願っています。

そしてこのたび、「ARTクリニックみらい」を岡崎市大樹寺に開院することとなりました。エンジェルベルホスピタル不妊センターは8月10日をもって閉鎖、人員・設備等を移設する形での新規開院となります。これまで、待合室の混雑、待ち時間の延長、導線の悪さ等でご不便をおかけしてきましたが、新規施設ではその解消を目指しています。皆様には、通院場所の変更以外、何ら不利益が生じないように準備をすすめております。現在、診療情報、凍結検体の移管に関する同意でお手数をおかけしておりますが、何卒ご了承くださいと幸いです。

医師、看護師、培養士、事務員ふくめ、経験を積んだスタッフのほぼ全員が新規施設に移動します。これまでと同等はもちろん、より質の高い医療の提供を目指していますのでご安心ください。現場主義で、ソフト・ハード両面の改善をこれからどんどん図っていきます。

我々医療チームのパフォーマンスは、ご夫婦の未来に大きな影響を及ぼします。その責任の重さをスタッフ全員が心に留め、常に向上を目指していきます。パフォーマンスを高めることで、ご夫婦に望む未来を届け、地域に活気ある未来を届け、次世代にも希望ある未来を届ける。そんな「未来」を見据える場として、クリニック名に「みらい」という言葉を含めました。ぜひご夫婦の、将来の夢をふくらませて、「みらい」にお越しくください。チーム一丸となって、ご夫婦にのぞむ「みらい」をお届け致します。新クリニックにどうぞご期待ください。

平成28年5月吉日

ARTクリニックみらい

院長 村田泰隆